

注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

商品の特長

この時計は、時刻 / カレンダーの他に、アラーム1、アラーム2、クロノグラフ、タイマー、の4つのモード機能を持っています。また、暗い所でも表示が見える(エレクトロルミネセンス)内部照明機能を持っています。

EL内部照明機能について

ELとは電界発光とも言い、電圧をかけることで発光する科学的な現象のことです。この時計はEL物質をパネルにし、発光させる方式を採用しています。

点灯方法

Ⓐボタンを押すと、EL内部照明が点灯します。

各部の名称

*モデルによってはデザイン異なるものがあります。

モード(機能)の切り替え

Mボタンを押す毎に、【TME】【AL1】【AL2】【CHR】【TMR】の順にモードが切り替わります。

モード表示

TME:時刻 / カレンダー
AL1:アラーム1
AL2:アラーム2
CHR:クロノグラフ
TMR:タイマー

製品仕様

- キャリアーNo. C352
- 型式 コンビネーション(アナログ + デジタル) 氷晶時計
- 時間精度 平均月差 ± 30秒以内 常温 5°C ~ 35°C 携帯時
- 作動温度範囲 ... 0 ~ 55
- 表示機能 アナログ部: ・時、分
デジタル部: ・時刻 / カレンダー:時、分、秒、月、日、曜
・アラーム1・2
・クロノグラフ:24時間計(60分未満:1 / 100秒単位) スプリット計測
・タイマー:99分計(1分単位) / オートクロノグラフ機能(24時間計) / タイムアップ予告音機能
- 付加機能 EL内部照明機能
- 使用電池 電池番号 280-44、電池コード SR927W
- 電池寿命 約2年 (アラーム音40秒 / 日、タイマータイムアップ音5秒 / 日、EL照明3秒 / 日の場合)

上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

時刻 / カレンダーの合わせ方

アナログ、デジタルともに時刻合わせはこの【TME】モードで行います。アナログ時刻とデジタル時刻は単独にセットできますのでデュアルタイムと使することができます。

<表示の切り替え>
Bボタンを押すと時刻表示 カレンダー表示が切り替わります。

<秒の合わせ方>
1)時刻 / カレンダー表示でCボタンを1秒以上押し続けると、秒が点滅し修正状態になります。
2)秒が点滅している時にBボタンを押すと、00秒に戻りスタートします。

<時刻 / カレンダーの合わせ方>
1)修正状態(秒が点滅)の時、Cボタンを押す毎に点滅箇所が替わりますので、修正したい箇所を点滅させます。
2)Bボタンを押して修正します。(押し続けると早送ります。)
・12/24H制は、Bボタンを押す毎に切り替わります。
・アナログ時刻の修正は アナログ時刻修正マーク が点灯し、デジタル時刻全体が点滅しているときにBボタンで正転修正できます。
3)最後にCボタンまたはMボタンを押して完了です。

・12時間制のときは、A(午前) / P(午後)に注意してください。
・カレンダーは月末自動修正の為、修正の必要はありません。但し、うるう年の2月だけは月末修正が必要です。
・修正(点滅)状態で2~3分間放置すると自動的に通常表示に戻ります。
・修正状態でMボタンを押すとすぐに通常表示に戻ります。
・非存日(例えば、2月30日)に合わせた場合は、通常表示に戻すと自動的に翌月の1日を表示します。

オールリセット操作について

電池交換をした後や、強い衝撃で時計が異常な表示や動作をしたとき表示しない、アラームが鳴り続けるなどは、次のオールリセット操作を行ってください。

<オールリセット操作>
1)A、B、C、Mのボタンを同時に押します。
2)ボタンを離します。(すべてが表示された状態になります)
3)A、B、C、Mのいずれかのボタンを押します。(この時確認音が鳴ります。)
これで、オールリセット操作は終了です。

各モードを正しく合わせ直してご使用ください。

保証とアフターサービスについて

- 保証について**
保証期間内に、取扱説明書にそったご使用状態で、万一故障が生じた時には、保証書に従い、無料修理いたします。
- 修理用品の保有期間について**
当社は時計の機能を維持するための修理用品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・バンド・針・りゅうずなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 修理可能期間について**
通常のご使用であれば、保証期間を過ぎても、当社の修理用品の保有期間中は有料修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参のうえ販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。
- ご転居・ご購入済みの場合**
保証期間中に、ご転居又は、ご購入済のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、お近くの当社サービスセンターにご相談ください。
- 定期点検について**
安全に永くご使用いただくために、2~3年に一度の定期点検を行ってください。部品交換の際は、純正部品をご指定ください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやパネ棒等の交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品をご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検、または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくはお買い上げ店、またはシチズンサービスセンターにご相談ください。
- 電池について**
お買い上げの時計に使用されている電池は、工場出荷時の機能、性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。電池寿命が切れた場合は、保証期間内であっても電池交換は有料となります。
- その他お問い合わせについて**
保証や修理、その他不明の点がございましたら、お買い上げ店または、シチズンサービスセンターにご相談ください。

アラーム1・2の使い方【AL1 / AL2】

アラーム1とアラーム2は鳴り音異なるだけで、アラームのセットなどの操作は全て同じです。このアラームは、一度セット(ON)すると解除(OFF)しないかぎり毎日同じ時刻にアラーム音が鳴ります。

[アラーム通常(ON)表示]

<セットの仕方>
1)Mボタンを押して、【AL1】または【AL2】モードにします。
2)Cボタンを押すと「時」が点滅します。この時、Bボタンを押して「時」を修正します。(Bボタンは押し続けると早送ります)
3)「時」が点滅している状態でCボタンを押すと「分」が点滅しますので、Bボタンで修正します。
4)再度Cボタンを押して点滅表示(修正状態)を解除してセット完了です。

・アラームモードでBボタンを押し続けている間、アラーム音を鳴らすことができます。(アラーム音モニター)
・時刻モードが12時間制表示の時は、アラーム時刻も12時間制表示となりますのでA(午前) / P(午後)に注意してください。

<アラームのON / OFF>
アラーム通常表示でBボタンを押す毎にON / OFFを切り替えることができます。

<アラームの鳴り時間とアラームの止め方>
アラームの鳴り時間は20秒間です。どのボタンを押してもアラームは鳴り止みます。

お取り扱いにあたって

警告 防水性能について

- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜/スキューバダイビングなどには使用できません。
- ・日常生活強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について

・時計の文字板及び裏蓋の防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)

名称	文字板	表示	ケース(裏蓋)	仕様
非防水時計			---	非防水
日常生活用防水時計	無表示		WATER RESIST(ANT)	3気圧防水
日常生活強化防水時計	WATER RESIST 5bar	または無表示	WATER RESIST(ANT) 5bar	5気圧防水
日常生活強化防水時計	WATER RESIST 10/20bar	または無表示	WATER RESIST(ANT) 10bar/20bar	10気圧防水 20気圧防水

*WATER RESIST(ANT) barはW.R. barと表示している場合があります。

注意

- ・水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。

水の中で使うことが多い日常生活強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金属製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。

- ・日常生活強化防水時計の場合、海水に濡した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にケレリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社サービスセンターへ修理、点検を依頼してください。
- ・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、ボタンなど)が外れる危険があります。

警告 電池の取り扱いについて

- ・幼児の手の届かないところに置いてください。
- ・誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。

注意 電池交換について

- ・電池寿命切れの時計をそのまましておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- ・電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

クロノグラフの使い方【CHR】

このクロノグラフは1/100秒単位(60分以降は秒単位)で最大23時間59分59秒までの計測表示ができます。24時間計測終了後はリセット状態に戻り停止します。また、スプリットタイム(途中経過時間)の計測もできます。

<積算計測の仕方>
1)Mボタンを押して、【CHR】モードにします。
2)クロノグラフのスタート / ストップはBボタンで行います。(Bボタンを繰り返し押すことにより、何度でもスタート / ストップを繰り返すことができます。)
3)ストップしている時にCボタンを押すとリセットします。

<スプリット計測の仕方>
1)スタート / ストップはBボタンで行います。
2)計測中にCボタンを押すと約10秒間スプリットタイムを表示します。(スプリットタイム表示中はSPが点滅表示します。)
・スプリットタイムは何度でも計測表示できます。
・スプリットタイム表示中にCボタンを押すと次のスプリットタイムを表示します。
3)ストップしている時にCボタンを押すとリセットします。

タイマーの使い方【TMR】

タイマーは1分単位で、最大99分まで設定できます。
タイマー終了時に約5秒間タイムアップ音が鳴ります。また、タイムアップと同時に自動的にクロノグラフ計測に切り替わるオートクロノ機能がついています。

<セットの仕方>
1)Mボタンを押して、【TMR】モードにします。
2)Cボタンを押す毎にセット時間を1分ずつ修正できますのでセットしたい時間を表示します。(Cボタンは押し続けると早送ります。)

<タイマーの使い方>
タイマーとオートクロノの操作は同じです。
1)Bボタンを押すとタイマーセット時間からタイマーがスタートします。
2)タイマーまたはオートクロノ作動中にBボタンを押すとストップします。
・再スタートするときはBボタンを押します。
3)ストップしている時にCボタンを押すとリセットされます。

<タイムアップ予告音ON/OFF機能>
この時計はタイムアップ予告音のON/OFF切り替えができます。タイムアップ予告音をONにするときタイマーの残り時間が5、4、3、2、1分と50、40、30、20、10、9、8、.....、3、2、1秒のときにタイムアップの予告音が鳴ります。タイムアップ予告音のON/OFF切り替えは、Aボタンを押しながらBボタンを押します。タイムアップ予告音がONのときはタイマーモードマークが点滅します。

<タイマーやり直し機能>
タイマー作動中、またはオートクロノ計測中にCボタンを押すと、セット時間に戻り自動的に再スタートします。